令和５年度　公立学校教員採用候補者選考試験問題

商　業

注意　答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。
問題文中の会社等はすべて架空のものとする。

第１問題　高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説「商業編」について、次の問に答えよ。

問１　次の文章は、「第２章　商業科の各科目　第２節　課題研究」の「第１　目標」の一部である。［ア］～［ウ］にあてはまる語句を答えよ。

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で［ア］を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）商業の各分野について［イ］に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。
（２）ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を［ウ］し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
（３）課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

問２　次の文章は、「第２章　商業科の各科目　第18節　プログラミング」の「第２　内容とその取扱い」の一部である。［エ］～［カ］にあてはまる語句を答えよ。

（４）プログラムと情報システムの開発
ここでは、科目の目標を踏まえ、情報システム開発の手法と手順、［エ］などプログラムと情報システムの開発に関する知識、技術などを基盤として、企業活動の改善に対する要求などに基づいた適切なプログラムと情報システムの開発について、［オ］としての役割を果たすことができるようにすることをねらいとしている。
このねらいを実現するため、次の①から③までの事項を身に付けることができるよう、〔指導項目〕を指導する。
① プログラムと情報システムの開発について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けること。
② 企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、情報システムを開発し、［カ］すること。
③ プログラムと情報システムの開発について自ら学び、企業活動の改善に対する要求を踏まえ、適切なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組むこと。

問３　表１は「第１章　総説　第４節　商業科の内容構成」に示された分野構成である。［キ］～［コ］にあてはまる科目名を答えよ。

表１

分　野	各分野の科目	分野共通の科目	
		基礎的科目	総合的科目
マーケティング分野	マーケティング 商品開発と流通 ［キ］	ビジネス基礎 ビジネス・コミュニケーション	課題研究 ［コ］
マネジメント分野	［ク］ グローバル経済 ビジネス法規		
会計分野	簿記 財務会計Ⅰ 財務会計Ⅱ 原価計算 管理会計		
ビジネス情報分野	情報処理 ソフトウェア活用 プログラミング ［ケ］ ネットワーク管理		

2025 kyosai-guild.jp

第2問題　後の（1）～（5）の取引を仕訳せよ。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当なものを使用すること。

【勘定科目】

現金	当座預金	売掛金	貸倒引当金
売買目的有価証券	貯蔵品	未収入金	前払保険料
備品	備品減価償却累計額	建設仮勘定	のれん
満期保有目的債券	子会社株式	長期前払保険料	未払金
未払配当金	保証債務	社債	資本金
資本準備金	その他資本剰余金	利益剰余金	利益準備金
別途積立金	繰越利益剰余金	自己株式	非支配株主持分
売上	受取利息	有価証券利息	保証債務取崩益
有価証券売却益	社債償還益	固定資産売却益	保険料
固定資産除却損	有価証券売却損	社債償還損	固定資産売却損

（1）額面総額¥50,000,000　償還期限10年　払込金額は、額面¥100につき¥96の条件で発行していた社債のうち、額面金額¥20,000,000を発行後3年目の初めに¥100につき¥98で買入償還し、小切手を振り出して支払った。

（2）株主総会において繰越利益剰余金を次のとおり配当および処分することを決議した。ただし、資本金の額は¥10,000,000資本準備金と利益準備金の合計額は¥2,430,000である。

利益準備金　会社法令に規定する額　　配当金　¥1,000,000　　別途積立金　¥650,000

（3）安来商事株式会社は、自己株式（1株の帳簿価額¥65,000）20株を消却した。

（4）取得原価¥900,000　減価償却累計額¥600,000の備品を除却した。ただし、処分価額を¥100,000と見積もった。

（5）令和3年度末にP社（親会社）は、S社（子会社）の株式90%を¥1,550,000で取得して支配した。このときのS社の、資本金は¥1,000,000　利益剰余金は¥500,000であった。よって、投資と資本を相殺消去するための連結仕訳を答えよ。

第3問題　次の問に答えよ。

問1　雲南商事株式会社の令和3年12月31日（決算年1回）における総勘定元帳勘定残高と決算整理事項によって、貸借対照表の固定資産の部を作成し、後の［ア］～［カ］にあてはまる表示科目と金額を答えよ。

元帳勘定残高（一部）

備品	¥2,000,000	備品減価償却累計額	¥ 875,000	建設仮勘定	¥4,500,000
のれん	1,200,000	その他有価証券	1,740,000	子会社株式	2,500,000

決算整理事項

a．備品減価償却高　定率法により、毎期の償却率を0.250とする。

b．のれん償却高　¥300,000の償却をする。

c．その他有価証券の評価　その他有価証券は、次の株式であり、時価によって評価する。

邑南商事株式会社　20株　　帳簿価額　1株¥87,000　　時価　1株¥85,000

d．保険料前払高　保険料のうち¥75,000は決算日の翌日から2年後に費用となる。

貸借対照表

雲南商事株式会社　　令和3年12月31日　　（単位：円）

Ⅱ　固定資産		
(1)　有形固定資産		
1.　備品	( )	
減価償却累計額	( )	( )
2.　建設仮勘定		( )
有形固定資産合計		( )
(2)　無形固定資産		
1.　のれん	(ア)	
無形固定資産合計		( )
(3)　投資その他の資産		
1.　(イ)	( )	
2.　(ウ)	(オ)	
3.　(エ)	(カ)	
投資その他の資産合計		4,275,000
固定資産合計		10,518,750

2025 kyosai-guild.jp

問2　次の資料によって、(1) 損益分岐点売上高およびその販売数量、(2) 目標営業利益¥900,000 を達成するために必要な売上高およびその販売数量を答えよ。

資料

① 販売価格　@¥2,500
② 製造費用
　変動製造費　@¥900　　固定製造間接費　¥2,940,000
③ 販売費および一般管理費
　変動販売費　@¥700　　固定販売費および一般管理費　¥1,290,000

第4問題　次の (1) ～ (5) は何について説明したものか、答えよ。

(1) 食品スーパーとレストランを組み合わせた小売業の業態のこと。

(2)「新しい金融サービスを創出するＩＴ技術」または「ＩＴ技術を駆使した金融サービス」を意味する、金融とＩＴ技術を合わせた造語のこと。

(3) 観光地経営の担い手となる組織のこと。旅行者にとって魅力的な観光地をつくることを目的とした組織で、日本では 2015 年に、観光庁により、観光地域づくりにおける舵取り役となる登録制度が導入された。

(4) デジタル技術が人々の生活に様々な影響を与えることであり、企業においては、ビジネス環境の激しい変化に対応するため、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

(5) 自動車を共有する「カーシェア」、住む家を共有する「シェアハウス」など、個人や企業が保有する人や物、場所、スキルなどを、インターネットを使ってマッチングさせ、ほかの個人や企業も利用可能にする経済活動のこと。

第5問題　次の問に答えよ。

問1　他人の所有する土地を、一定の制限内で使用・収益することを内容とする物権を総称して何というか、答えよ。

問2　問1の物権には4種類ある。次の表2の［ア］、［イ］にあてはまる語を答えよ。

表2

種類	権利内容
地上権	建物などの工作物の築造、植林などのために、他人の土地を使用できる権利。
永小作権	小作料を支払って、耕作や牧畜のために、他人の土地を使用できる権利。
［ア］	通行・引水など、自己の土地の便益のために他人の土地を利用することのできる権利。
［イ］	古来の慣習にもとづいて、農村の人々が他人の土地にはいって、たき木や草などをとることのできる権利。

問3　土地および土地に固定して付着している物のことを何というか、答えよ。

問4　財産権をあらわした証券で、その権利の行使や移転に証券の所持が必要である証券のことを何というか、答えよ。

第6問題　次の問に答えよ。

問1　元金¥500,000 を年利率 4.0％で1年6か月間借りると、元利合計はいくらになるか、答えよ。

問2　割引率 10％、2年後に¥500,000 のキャッシュ・フローを生み出す資産の現在価値はいくらか、答えよ。(円未満切り捨て)

問3　仲立人が売り主から 2.9％、買い主から 3.2％の手数料を受け取る約束で¥6,890,000 の商品の売買を仲介した。仲立人が得た手数料の合計額はいくらか、答えよ。

問4　原価¥640,000 の商品に原価の2割8分の利益をみて定価をつけたが、この商品のうち半分は定価どおりで販売し、残り全部は市価下落のため、定価の1割5分引きで販売した。総売上高はいくらになるか、答えよ。

2025 kyosai-guild.jp

第7問題　次の（1）～（5）は何について説明したものか、答えよ。

（1）あるメディアで見た情報をきっかけにして、消費者が他のメディアに誘導されて情報探索や購買行動へと結びつけられるように、メディアを組み合わせて販売促進する手法のこと。

（2）企業の選択における、どちらか一方を選択すれば、もう一方をあきらめなければならない状態をトレード･オフというが、トレード・オフによってあきらめなければならない価値のこと。

（3）外国の資本や外貨獲得のため、規制をきわめてゆるやかにしたり、税金をなくしたりするなどの優遇をして、企業や富裕層の資産を誘致する国や地域のこと。

（4）発展途上国を支援するビジネス活動のこと。単なる金銭的な援助ではなく、支援先の地域が自立的に成長できるように、ビジネスとしての公正性（取引の合理性やシビアな品質管理など）を保ちながら行う。

（5）ビジネスをはじめたい人が、インターネットを通じてアイディアを公開し、一般の人々から少額ずつ資金を提供してもらう仕組みのこと。

第8問題　次の文章を読み、後の問に答えよ。

O2O（オーツーオー）は、［ア］と［イ］の二つに分けられます。小売業では、消費者にスマートフォンでアプリをダウンロードしてもらい、クーポンや店舗情報などを配信することで店舗へ来てもらおうという取り組みが最初に行われていました。これを［ア］といいます。最近では、店舗に来てもらって、在庫がない商品をインターネットで注文してもらい、後日、自宅へ配送あるいは店舗への引き取りをしてもらうということも行われています。これを［イ］といいます。

小売業では、①ショールーミングという消費者の購買行動への対応として、O2Oが重視されるようになっています。

問1　［ア］、［イ］にあてはまる語を答えよ。

問2　下線部①について、「実店舗」という語を用いて簡潔に説明せよ。

第9問題　次の問に答えよ。

問1　「定性調査」と「定量調査」を、次の［　　］の中の語をすべて用いて簡潔に説明せよ。

数値化　インタビュー　アンケート　観察法

問2　「カルテル」について簡潔に説明せよ。

問3　「ホワイトカラー」について簡潔に説明せよ。

問4　下記の用語（1）～（3）の説明として適切なものを、説明のA～Cから選び、記号で答えよ。

用語

（1）コーポレートチェーン　（2）フランチャイズチェーン　（3）ボランタリーチェーン

説明

A　独自の商品や販売方式などを開発した企業が本部となり加盟店の指導を行い、そこから経営指導料を受け取る経営方式。

B　多数の独立した小売業者が企業としての独立性を維持しつつ、商品の仕入れや広告などを共同で行うことで、大規模化・効率化をめざす経営方式。

C　一つの企業が多数の店舗を設け、仕入れや広告などを本部でまとめて行い、仕入価格の引き下げや経費の節減をめざす経営方式。

2025 kyosai-guild.jp

第10問題　次の問に答えよ。

問1　下記の用語（1）～（3）の説明として適切なものを、説明のA～Cから選び、記号で答えよ。

用語

（1）SaaS　（2）PaaS　（3）IaaS

説明

A　データを蓄積し、処理するためのコンピュータやサーバといったハードウェアで構成される基幹部分を、ネットワーク経由でサービスとして提供する。

B　コンピュータで必要なオペレーションシステムや、プログラム言語などの基盤を、ネットワーク経由でサービスとして提供する。

C　従来、コンピュータにインストールして使用していたソフトウェアやアプリケーションを、ネットワーク経由でサービスとして提供する。

問2　2進数10111と2進数1110で表される数の積を求め、その数を16進数で答えよ。

問3　あるコンピュータシステムを600日間運用した際の稼働率が0.99であった。故障のために運用できなかった時間を答えよ。ただし、毎日24時間連続運用しているものとする。

問4　浜田商会は、取引先との値引率を前年までの取引実績により次の表3にもとづいて決めている。広島商会の昨年までの取引実績は以下のとおりである。値引き率を答えよ。

広島商会の前年までの取引実績

・取引年数4年

・昨年の受注額400万円

・昨年の年間受注回数3回

表3

条件	取引年数5年以上	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
	昨年の受注額300万円以上	Y	Y	N	N	Y	Y	N	N
	昨年の年間受注回数6回以上	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N
行動	値引き率　10%	X	－	－	－	－	－	－	－
	値引き率　8%	－	X	－	－	－	－	－	－
	値引き率　5%	－	－	X	－	X	－	－	－
	値引き率　2%	－	－	－	X	－	X	－	－
	値引きなし	－	－	－	－	－	－	X	X

※Y：条件を満たす　N：条件を満たさない　X：行動　－：行動なし

問5　表4はOSI参照モデルの各階層の名称とその機能や提供するサービスを示したものである。プロトコル「IP」はア～エのどの層に該当するか記号で答えよ。

表4

OSI参照モデル	TCP/IP階層モデル	プロトコル
アプリケーション層	アプリケーション層	(ア)
プレゼンテーション層		
セッション層		
トランスポート層	トランスポート層	(イ)
ネットワーク層	インターネット層	(ウ)
データリンク層	ネットワークインタフェース層	(エ)
物理層		

2025 kyosai-guild.jp

第11問題　次の問に答えよ。

下記の処理内容、処理条件にしたがい図３の実行結果となるよう、図４の流れ図の（１）～（４）にあてはまる命令を答えよ。

■処理内容

配列に記憶した数値に順位をつけてディスプレイに表示する。

■処理条件

１．図１のように配列Ｔｂｌに数値を記憶する。
なお、データ件数はｎ件である。

配列

	(0)	(1)		(n－2)	(n－1)
Tbl	384	251	～	781	184

図1

２．図２の配列Rankを利用し、配列Tblの数値の降順に順位をつけて、TblとRankの内容を表示する。なお、数値が同じ場合は同順位とする。

配列

	(0)	(1)		(n－2)	(n－1)
Rank			～		

図２

■実行結果

(数値)	(順位)
384	10
251	22
≀	≀

図３

■流れ図

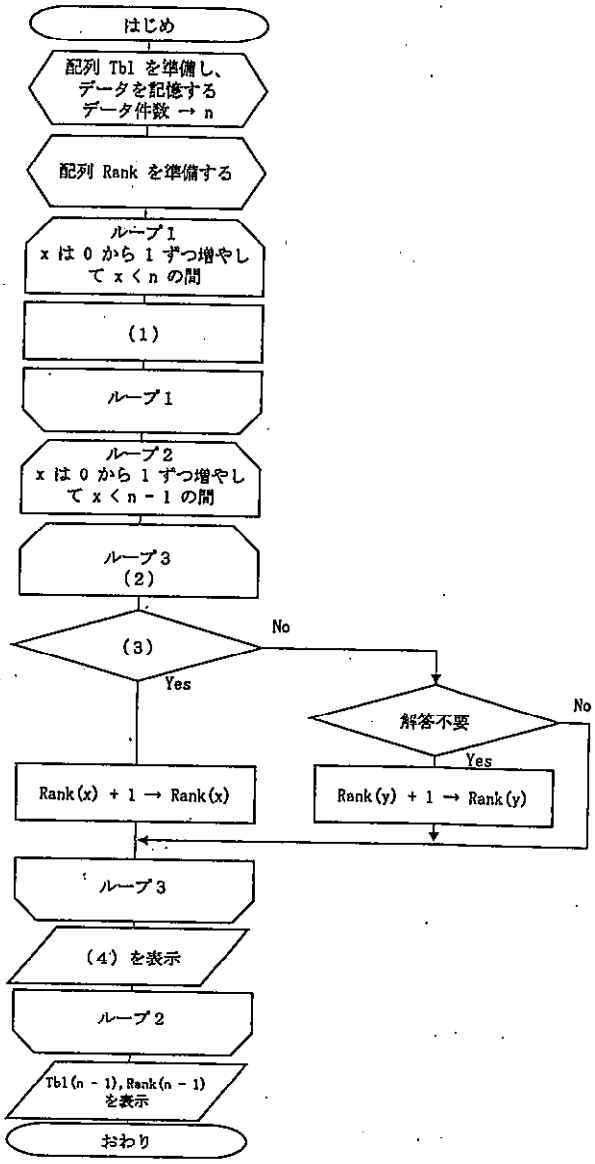

図４

2025 kyosai-guild.jp

第12問題　次の問に答えよ。

問1. 図5は、ある商品の商品情報一覧表である。セルC4に設定する式の［ア］、［イ］にあてはまる語を答えよ。

	A	B	C	D
1				
2	商品情報一覧表			2022年7月
3	商品コード	定価	販売価格	在庫数量
4	PCE202104	1,800	1,260	980
5	WND202109	2,100	1,890	240
6	RSF202112	3,200	2,880	329
7	CEG202206	1,400	1,260	320
8	XPH202107	5,200	3,640	210
9	FED202204	6,300	5,670	143

図5

処理条件

商品コードは左端から商品分類3桁、年4桁、月2桁で構成され、年、月は入荷時期を表している。また、セルD2には現在の年、月が表示されるように設定されている。

販売価格は商品の入荷時期から当月が12か月以上経過している場合は定価の30%引き、12か月未満の場合は定価の10%引きで表示する。

セルC4に設定する式をセルC9までコピーするものとする。

セルC4に設定する式

=IF((［ア］(D2)−VALUE(［イ］(A4,4,4)))＊12−(VALUE(RIGHT(A4,2))−MONTH((D2))>=12,B4＊70%,B4＊90%)

2025 kyosai-guild.jp

問2　松江商店では、販売管理情報を、図6のようなリレーショナルデータベースを利用して管理を行っている。後の（1）、（2）に答えよ。

販売員表

販売員コード	販売員名
H1201	安来〇〇
H1203	松江〇〇
H1402	宍道〇〇
H1501	出雲〇〇
⟆	⟆

商品表

商品コード	商品名	単価
S0001	健康茶	5,000
S0002	健康コーヒー	3,000
S0003	セイロンティー	2,500
S0004	ドクダミ茶	3,400
⟆	⟆	⟆

販売表

販売日	販売員コード	商品コード	数量	購買客性別	購買客年齢
20210201	H1203	S0002	2	女	20
20210201	H1501	S0004	3	女	45
20210202	H1402	S0001	2	男	34
20210203	H1201	S0003	1	女	56
⟆	⟆	⟆	⟆	⟆	⟆

図6

（1）販売表のすべてのデータから「ドクダミ茶」を購買した男性の平均年齢を検索するためのＳＱＬ文の［　ウ　］にあてはまる語句を答えよ。

実行結果

商品名	男性購買客平均年齢
ドクダミ茶	47

ＳＱＬ文

```
SELECT 商品名, [　ウ　] AS 男性購買客平均年齢
FROM 販売表, 商品表
WHERE 販売表.商品コード = 商品表.商品コード
AND 販売表.商品コード = 'S0004'
AND 販売表.購買客性別 = '男'
```

（2）販売表に次の登録内容を追加するＳＱＬ文の［　エ　］、［　オ　］にあてはまる語句を答えよ。

登録内容　販売日　：2022/05/30
販売員コード　：H1501
商品コード　：S0002
数量　：10
購買客性別　：女
購買客年齢　：35

ＳＱＬ文

```
INSERT [　エ　] 販売表 [　オ　] ('2022/05/30', 'H1501', 'S0002', 10, '女', 35)
```


2025 kyosai-guild.jp

令和５年度　解答用紙

商　業	1／3枚中

第１問題

問１	ア	持続的な発展(1点)	イ	実務(1点)	ウ	探究(1点)
問２	エ	プロジェクト管理(1点)	オ	組織の一員(1点)	カ	評価・改善(1点)
問３	キ	観光ビジネス(1点)	ク	ビジネス・マネジメント(1点)	ケ	ネットワーク活用(1点)
	コ	総合実践(1点)				

第２問題

	借　方		貸　方	
(1)	社　債	19,360,000	当座預金	19,600,000
	社債償還損	240,000		(2点)
(2)	繰越利益剰余金	1,720,000	利益準備金	70,000
			未払配当金	1,000,000
			別途積立金	650,000
				(2点)
(3)	その他資本剰余金	1,300,000	自己株式	1,300,000
				(2点)
(4)	備品減価償却累計額	600,000	備　品	900,000
	貯蔵品	100,000		
	固定資産除却損	200,000		(2点)
(5)	資本金	1,000,000	子会社株式	1,550,000
	利益剰余金	500,000	非支配株主持分	150,000
	のれん	200,000		(2点)

2025 kyosai-guild.jp

第３問題

問１	ア	900,000 (1 点)	イ	投資有価証券 (1 点)	ウ	関係会社株式 (1 点)
	エ	長期前払費用 (1 点)	オ	2,500,000 (1 点)	カ	75,000 (1 点)

問２	(1)	損益分岐点	売上高	￥ 11,750,000
			販売数量	4,700 個 (3 点)
	(2)	目標営業利益￥900,000 を達成するために必要な	売上高	￥ 14,250,000
			販売数量	5,700 個 (3 点)

第４問題

(1)	グローサラント (2 点)	(2)	フィンテック (2 点)	(3)	ＤＭＯ (2 点)
(4)	デジタル・トランスフォーメーション（ＤＸ）(2 点)	(5)	シェアリング・エコノミー (2 点)		

第５問題

問１	用益物権 (2 点)				
問２ (2 点)	ア	地役権	イ	入会権	※問２は完答
問３	不動産 (2 点)		問４	有価証券 (2 点)	

第６問題

問１	￥ 530,000 (2 点)	問２	￥ 413,223 (2 点)
問３	￥ 420,290 (2 点)	問４	￥ 757,760 (2 点)

第７問題

(1)	クロス-メディア (1 点)	(2)	機会費用 (1 点)	(3)	タックス・ヘイブン (1 点)
(4)	フェア・トレード (1 点)	(5)	クラウドファンディング (1 点)		

第８問題

問１	ア	オンライン・ツー・オフライン (1 点)	イ	オフライン・ツー・オンライン (1 点)
問２	実店舗ではショールームのように商品を見るだけであることから名付けられた言葉で、消費者が小売店に来て、実物を見たり、店員の説明を聞いたりするものの、商品の購入にはインターネットを利用するという購買行動のこと。(1 点)			

2025 kyosai-guild.jp

令和５年度　解答用紙

商　業	3／3枚中

第９問題

問１	定性調査は、数値化が困難な情報を集めるための調査で、調査対象から直接意見を聞くインタビューや、調査対象には直接働きかけずに様子を観察する観察法がある。 定量調査は、調査対象者の意見や考え方などを、数値化された情報から収集する調査である。一般には、調査事項を記載した質問票により、回答を数値化するアンケートという手法が用いられる。 (3 点)						
問２	競争関係にある企業が、互いに協定を結んだり、それに基づく協調的な行動をとること。(3 点)						
問３	営業・企画・マーケティング・経理などの事務系従業員のこと。(3 点)						
問４ (1 点)	(1)	C	(2)	A	(3)	B	※問４は完答

第 10 問題

問１ (2 点)	(1)	C	(2)	B	(3)	A	※問１は完答
問２	１４２(2 点)				問３	１４４　時間(2 点)	
問４	２％(2 点)				問５	ウ(2 点)	

第 11 問題

(1)	１　→　Ｒａｎｋ（ｘ）(2 点)
(2)	ｙ は ｘ＋１ から １ ずつ増やして ｙ＜ｎ の間(2 点)
(3)	Ｔｂｌ（ｘ）　＜　Ｔｂｌ（ｙ）(2 点)
(4)	Ｔｂｌ（ｘ），Ｒａｎｋ（ｘ）(2 点)

第 12 問題

問１ (2 点)	ア	ＹＥＡＲ	イ	ＭＩＤ		※問１は完答
問２ (2 点)	(1)	ウ	AVG(購買客年齢) (2 点)			
	(2)	エ	ＩＮＴＯ	オ	ＶＡＬＵＥＳ	※問２（２）は完答

2025 kyosai-guild.jp